

# 佐渡の竹を活用した二酸化炭素削減活動

## 【概要】

都市部での二酸化炭素排出に対して、佐渡の竹(林)を活用したカーボンオフセット活動とのトレードオフ関係を構築し、排出総量の削減を行う。

## 【前提】

- ・日本人一人当たりの二酸化炭素排出量 9~10トン (出典:国立環境研究所)
- ・竹林 1ヘクタールあたりの炭素固定量 5.5トンc/ha (参考:Bamboo and Climate Change Mitigation)
- ・竹の炭素固定能力は、当初 5 年間で見るならば、カーボンオフセットの対象としている人工林よりも多くの二酸化炭素の固定能力を秘めているということです。

(引用:雑草対策アドバイザー <https://xn--u9j842k3xbu29bxkieq3a.com/archives/2145>)

## 【活動内容】

- ・佐渡市内の竹林を 5 年サイクルで管理することで、二酸化炭素を固定し、6 年目の竹を製品や活動エネルギーとして利用することで、あらたな排出を抑制することで、都市部の二酸化炭素排出と、地方での固定と排出抑制によるトレードオフ関係を構築する。
- ・竹林から得られる関連製品の購入および維持管理等にかかる費用(の一部)を都市部の事業者が支援する。

| 都市部  | ← トレードオフ →  | 地方  |
|--|---|---|
|  <p>・化石燃料の消費による二酸化炭素の排出<br/>※二酸化炭素を吸収できない</p> | <p>・竹(に關係する)製品の購入</p>  <p>・竹林整備の支援</p>  |  <p>・竹林管理(5 年) ※二酸化炭素の固定<br/>・竹の活用、製品の製造<br/>・バイオマスエネルギー利用</p> |

## 【計算例】

都市の人口を 30 万人とした場合

$30 \text{ 万人} \times 9.5 \text{ t (一人当たり排出量)} \div (5.5 \text{ t} \div 5 \text{ 年}) = 259 \text{ 万 ha}$  の竹林を管理、活用

## 【考察】

事業者の支援割合を 1 割とした場合

… 佐渡市内の竹林26万 ha を対象とした竹(関連)製品の購入と整備活動を支援、とか。

以上